

平成24年12月 東京地区百貨店売上高概況

平成25年1月17日

I. 概況

1. 売上高総額	1,737億円余
2. 前年同月比	-1.1% (店舗数調整後/2か月ぶりマイナス)
3. 店頭・非店頭の増減	店頭-1.2%(90.1%) : 非店頭-0.3%(9.9%) ()内は店頭・非店頭の構成比
4. 調査対象百貨店	13社 26店 (平成24年11月対比±0店)
5. 総店舗面積	920,585㎡ (前年同月比:0.5%)
6. 総従業員数	18,792人 (前年同月比:0.0%)
7. 3か月移動平均値	5-7月 0.2%、6-8月 -0.4%、7-9月 -0.2%、 8-10月 -0.3%、9-11月 0.9%、10-12月 0.1%

[参考] 平成23年12月の売上高増減率は0.3% (店舗数調整後)

【12月売上の特徴】

- (1) 11月に続いて気温が低めに推移したため、マフラー・ストール・手袋・防寒(機能)肌着・ショートブーツ等の防寒用品が好調で2ヶタ増の店も複数見られたものの、前年12月好調の反動と11月への前倒しの影響で、ウールコート等の重衣料の動きは鈍かった。なお、平成24年暦年の売上は、1兆5,203億円となり、店舗数調整後(+2.1%)・同調整前(+1.7%)とそれぞれ前年を確保。揃って売上高が前年を確保するのは5年ぶりになる。
- (2) 歳暮とおせちについては、トータルで見るとほぼ前年並の結果となった。クリスマス商材は、婦人アクセサリ(身のまわり品:+5.2%)が好調で客単価も上がり、化粧品(+1.8%)もクリスマス限定品の好調や改装効果もあって5か月連続で売上を伸ばした。クリスマスケーキはホールケーキ・ショートケーキ・プチケーキ等の当日需要が上乘せし、前年を上回った店が多かった。
- (3) 1月の滑り出しは、初商が順調(福袋は2ヶタ増の店が複数見られ、クリアランスセールは順調に推移)であったものの、14日(成人の日)大雪の影響により、16日現在、前年の売上を若干割っている。なお、入店客数は前年をクリアしている。

【要因】

- (1) 営業日数増減 31.0日 (前年同月比±0.0日)
- (2) 入店客数増減 (回答店舗数で見ると傾向値/前年同月比/有効回答数20店舗)
①増加した:3店、②変化なし:4店、③減少した:13店
- (3) 12月歳時記(クリスマス、歳暮、天皇誕生日、冬至、大晦日)の売上(同上/有効回答数16店舗)
①増加した:1店、②変化なし:7店、③減少した:8店
- (4) 翌月売上見通し(回答店舗数で見ると傾向値/有効回答数20店舗)
①増加する:4店、②変化なし:12店、③減少する:3店、④不明:1店

東京地区百貨店 売上高速報 2012年12月

※店舗数調整後 ()が調整前

	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
総 額	173,751,736	100.0	-1.1 (-1.9)
紳士服・洋品	13,785,924	7.9	-1.1
婦人服・洋品	27,809,891	16.0	-2.1 (-2.8)
子供服・洋品	2,525,649	1.5	-3.5
その他衣料品	3,063,016	1.8	-4.2
衣 料 品	47,184,480	27.2	-2.0 (-2.4)
身のまわり品	23,300,702	13.4	5.2 (1.0)
化粧品	8,173,514	4.7	1.8
美術・宝飾・貴金属	9,391,881	5.4	-0.5
その他雑貨	8,084,942	4.7	-10.2
雑 貨	25,650,337	14.8	-3.1
家具	2,004,734	1.2	-6.8
家電	1,165,933	0.7	47.8
その他家庭用品	5,380,505	3.1	-11.2 (-12.0)
家庭用品	8,551,172	4.9	-4.9 (-5.6)
生鮮食品	9,603,147	5.5	-0.2
菓子	16,181,955	9.3	-0.1
惣菜	12,356,104	7.1	0.4
その他食料品	20,876,843	12.0	-2.6 (-3.0)
食 料 品	59,018,049	34.0	-0.9 (-1.0)
食堂 喫茶	3,596,997	2.1	0.6 (-0.4)
サービス	2,533,938	1.5	-3.8
そ の 他	3,916,061	2.3	-5.3 (-8.2)

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。
本統計には消費税は含まれておりません。

対前年増減(-)率 (%)
※

商品券	6,566,677 千円	-14.9 (-15.2)
従業員数	18,792 人	0.0
店舗面積	920,585 m ²	0.5

営業日数	31.0 日	前年	31.0 日
------	--------	----	--------

Ⅱ. 商品別の動き

主要5品目では、身のまわり品が2か月連続のプラス。衣料品が2か月ぶり、食料品が5か月ぶり、雑貨が3か月連続、家庭用品が2か月連続のマイナスとなった。また、化粧品が5か月連続、惣菜が17か月連続のプラス、家電が2か月ぶりのプラスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	-1.1	—	2か月ぶりマイナス
紳士服・洋品	-1.1	-0.1	2か月ぶりマイナス
婦人服・洋品	-2.1	-0.3	2か月ぶりマイナス
子供服・洋品	-3.5	-0.1	2か月ぶりマイナス
その他衣料品	-4.2	-0.1	2か月ぶりマイナス
衣料品	-2.0	-0.5	2か月ぶりマイナス
身のまわり品	5.2	0.7	2か月連続プラス
化粧品	1.8	0.1	5か月連続プラス*
美術・宝飾・貴金属	-0.5	0.0	2か月ぶりマイナス*
その他雑貨	-10.2	-0.5	8か月連続マイナス*
雑貨	-3.1	-0.5	3か月連続マイナス
家具	-6.8	-0.1	3か月連続マイナス
家電	47.8	0.2	2か月ぶりプラス
その他家庭用品	-11.2	-0.4	8か月連続マイナス
家庭用品	-4.9	-0.3	2か月連続マイナス
生鮮食品	-0.2	0.0	5か月ぶりマイナス*
菓子	-0.1	0.0	11か月ぶりマイナス*
惣菜	0.4	0.0	17か月連続プラス*
その他食料品	-2.6	-0.3	3か月ぶりマイナス*
食料品	-0.9	-0.3	5か月ぶりマイナス
食堂喫茶	0.6	0.0	2か月連続プラス
サービス	-3.8	-0.1	7か月ぶりマイナス
その他	-5.3	-0.1	8か月連続マイナス
商品券	-14.9	-0.7	20か月連続マイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化した。

東京地区百貨店 売上高速報 2012年01月～2012年12月

※店舗数調整後 ()が調整前

	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
総 額	1,520,317,899	100.0	2.1 (1.7)
紳士服・洋品	125,057,957	8.2	4.7 (5.3)
婦人服・洋品	307,327,531	20.2	2.5 (2.0)
子供服・洋品	31,086,046	2.0	3.2
その他衣料品	30,111,753	2.0	-2.2
衣 料 品	493,583,287	32.5	2.8 (2.6)
身のまわり品	203,345,683	13.4	4.8 (2.6)
化粧品	80,687,045	5.3	5.0 (5.0)
美術・宝飾・貴金属	79,678,461	5.2	5.0 (5.1)
その他雑貨	75,297,509	5.0	-5.5 (-5.5)
雑 貨	235,663,015	15.5	1.4 (1.4)
家具	23,405,820	1.5	-2.4
家電	10,721,032	0.7	9.3
その他家庭用品	53,314,295	3.5	-3.7 (-4.5)
家庭用品	87,441,147	5.8	-1.9 (-2.4)
生鮮食品	65,277,137	4.3	2.2 (2.6)
菓子	111,174,044	7.3	5.1 (5.2)
惣菜	86,623,666	5.7	5.8 (6.0)
その他食料品	132,428,917	8.7	-2.4 (-2.8)
食 料 品	395,503,764	26.0	2.1 (2.1)
食堂 喫茶	38,313,806	2.5	3.4 (2.6)
サ ー ビ ス	28,431,097	1.9	5.0 (5.2)
そ の 他	38,036,100	2.5	-9.3 (-11.1)

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。

本統計には消費税は含まれておりません。

対前年増減(-)率 (%)
※

商品券	47,363,666 千円	-39.2 (-39.3)
従業員数	227,815 人	-2.6
店舗面積	10,976,421 m ²	-0.5

営業日数	30.3 日	前年	30.1 日
------	--------	----	--------

お問い合わせは、日本百貨店協会 森・佐藤・西田まで
TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>